

## あとがき

本校の教育目標「学びを楽しみ、よりよく生きる人を育てる」のもと、学校研究のテーマを「学びがつながる授業づくり」と掲げ、これまでに行ってきた「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの成果と課題を基に「学びのつながり」をキーワードとした2年目の取り組みになります。今年度も聴覚障がい教育部と知的障がい教育部の2つの教育部が、それぞれの障がい特性を踏まえて同じテーマで取り組みました。

知的部は、算数・数学科を中心に研究に取り組みました。独自の「学習内容表」を活用して年間指導計画を作成し、定期的に計画内容を改善しながら各教科等の指導や合わせた指導における教科の在り方について考えることができました。聴覚部は、各教科等における言葉のやり取りに焦点を当て、言葉の課題や適切な言葉掛けについて考えることができました。

さらに、研究を進める上で知的部は各学部で作成した参観シートや事後研シートなどを活用した話し合いを行い、目標や内容、教材、手だての在り方を検討し「つながり」を意識した授業づくりを進めることができました。聴覚部は「研究授業の持ち方」「指導案の様式」「やりとりまとめシート」を改善・活用し、幼児児童生徒や指導者が発する言葉の実態の振り返りや課題の把握に役立ちました。

子どもの良さと個性を尊重しながら、子ども一人一人の確かな学びを実現する、より良い授業づくりのために、各学部で授業研究を通して、意見交換や教材の見直しを行いました。また、一斉指導の中での個別の支援の在り方についても検討しました。授業の質的改善を図るためには、日頃の授業を指導者が視点をもって振り返ることが何より重要です。そして振り返りで得られた、自分自身の授業づくりの課題に気づき、具体的に把握することが必要です。

本研究の継続により、授業改善を効果的に進め、これからも、教科学習の積み上げ（縦のつながり）と他領域や生活への広がり（横のつながり）を目指して、幼児児童生徒一人一人が、学びを楽しめる状況づくりに取り組んでまいります。御指導、御助言をいただければ幸いです。

令和6年3月

山形県立酒田特別支援学校  
教 頭 工藤 隆範